

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.387
令和5(2023)年9月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内27番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>

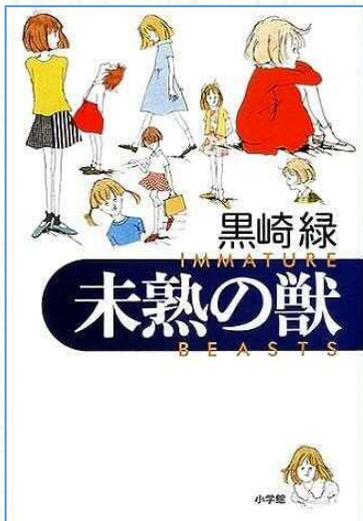
※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第43回

黒崎 緑 (くろさき・みどり)

小説家

1958(昭和33)年、尼崎市生まれ。同志社大学文学部英文学科卒業。在学中は有栖川有栖らと「同志社大学推理小説研究会」に所属。大学卒業後は、機械メーカーに就職し執筆活動を休止するが退職後、再開。平成元(1989)年『ワイングラスは殺意に満ちて』で第7回サントリーミステリー大賞読者賞を受賞し作家デビューを果たす。以降、本格ミステリー小説や探偵コンビが軽妙な関西弁での掛け合いを広げる「しゃべくり探偵」シリーズなど、多彩な作風で読者を魅了する。



作品紹介



「未熟の獣」黒崎 緑／著 小学館 2002年発刊

作家の住む町の近くで起きた幼女連続殺人事件。被害者の名字は「五百旗」「計徳」など、漢字の読みが難解な子どもたち。手のひらには「1+1=」と謎のメッセージ。謎がまた謎を呼び、スピーディな展開が繰り広げられる長編ミステリー。

としょかん DE 人形劇！

(共催：尼崎南ロータリークラブ)

秋の読書週間事業の一つとして、人形劇団クラルテによる楽しい人形劇を上演します♪演目は「森のちいくまちゃん」と「わくわくドッキン！こぶたのりんご」です。

【日時】10月14日(土) 13:00 ~ 14:00

【場所】中央図書館 1階セミナー室

【対象】尼崎市在住の3歳~小学生とその保護者(保護者は2人まで) 抽選50人

【申込】9月14日(木)~9月28日(木)

専用メールフォーム、または直接、中央図書館カウンターまで。



メールフォームは
こちらから



旧聖トマス大学図書館蔵書 閲覧日



旧聖トマス大学図書館の蔵書を予約なしで閲覧できます。

【日時】9月~11月 第1・2・3木曜日 13:00~16:00

直接ユース交流センターアマブラリへ。

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本 数珠つなぎ

第35回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。
福田 祥子さん(好吃食堂女将・コミュニティナース)から推薦された次の方は…

みやざき けんいち

宮崎 健一 さん

(杭瀬地域まちなか再生協議会会長・
宮崎建設株式会社代表取締役社長)

『帝国ホテル建築物語』

植松 三十里／著

(PHP 研究所 2019 年刊)



建物ができるまでに、人の心が揺れ動く様子を感じる物語です。

建物をどのようにつくりたいかという信念を貫くことで、携わる人たちの心の熱量が段階的に変わり、素晴らしい建物ができることが描かれています。建物は経済的な要因と切り離して考えることはできませんが、貨幣に変換できない文化的な特徴もあり、それを残せるかどうかは、建築主、設計者、施工者の心意気に委ねられているのかもしれない。建築が好きな方におすすめです。

次回は、司法書士の川岸 邦充さんです。お楽しみに！

レファレンス室から

～新刊紹介～

『うさぎの品種大図鑑 第3版』(誠文堂新光社) 2023年7月発刊



飼育うさぎの先進国アメリカで公認の51品種を網羅する図鑑。各品種の特徴・ルーツや歴史・体の大きさ・プロポーションについて、毛色がよくわかる美しい写真と共に紹介されています。血統書の見方・生態・遺伝学など、うさぎについてもっと詳しくなれる情報がたくさんの一冊です。

この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

「ヘルシンキ宣言」の条文が載っている本はありますか。



「ヘルシンキ宣言」とは、1964年に採択された世界医師会(WMA)による人体実験に関する倫理的原則を謳った医学研究の指針です。国立国会図書館サーチでキーワード検索をおこなうと、生命倫理・医療・看護倫理規定分野の本に収録されていることがわかりました。分類番号490番台(医療)の本棚を見てみると、『資料集 生命倫理と法』(太陽出版)に条文の全文が掲載されていました。『看護のこころ 看護の倫理規定・綱領・宣言集』(丸善)にも、条文全文とその出典が明記されています。

こんな本 入りました

～一般室の本棚から～



『世界をめぐる動物園・水族館コンサルタントの想定外な日々』田井 基文/著(産業編集センター)



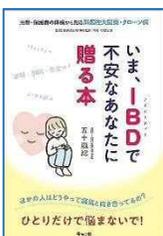
日本でただ1人の動物園・水族館コンサルタント。その仕事とは？ビジネスパートナーのランゲ博士とともに世界中の生き物と出会い、その命を支える人々の舞台裏を語る。

『カモナマイハウス』
重松 清/著(中央公論新社)



水原美沙は両親の看取り後、怪しげな「お茶会」にハマっている。31歳になった元戦隊ヒーローの息子の将来も心配だ。さらに空き家になった美沙の実家が、気鋭の空間リノベーターによって遺体安置所に改装されようとしていることを知り…。

『いま、IBDで不安なあなたに贈る本 患者・保護者の体験から知る潰瘍性大腸炎・クローン病』五十嵐 総一/著 竹島 史直/監修(みらいパブリッシング)



IBDとは、潰瘍性大腸炎とクローン病の総称。日本国内での患者数が年々増加傾向にある。経験者である著者が、病気を発症した当時の自分が欲しかった情報を患者目線、保護者目線から、丁寧にまとめている。

『リラの花咲くけものみち』
藤岡 陽子/著(光文社)



家庭環境に悩み、心に傷を負った岸本聡里は祖母に引き取られる。祖母と愛犬に支えられて獣医師を目指し、北海道の獣医学大学へ進学する。そこで馬や牛など経済動物の医師のあり方を目の当たりにし「生きること」について考えるようになる。

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館時間 **9:00~20:00**

※  印は休館日です。

※  囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

～平和を考えるミニ展示～

新美南吉生誕110年 南吉童話の中の戦争

貸出できる関連本のコーナーもあります

期間：9月27日(水)まで

場所：2階 エントランス

担当者のつづやき

9月1日は防災の日です。先月は大きな台風が近畿地方を縦断しましたね。そのときに買い置きを見直したところ、非常用備蓄セットの使用期限が2年過ぎていました。普段から意識することが大切です。図書館にも防災術の本があります！(M.Y)

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 9月12日(火) 午後2時~3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「健ちゃんの贈り物」

『赤川次郎ショートショートシリーズ2』より
ほか4篇

※10月は休館日のため、お休みです。

◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください

2023(令和5)年は児童文学者・新美南吉の生誕110年に当たります。南吉の生きた時代には戦争があり、作品の中にも戦争が出てくるものがあります。

今回の展示では、南吉の生涯や主な作品、戦争中の出来事を扱った童話を紹介しています。また『ごんぎつね』や『赤いろうそく』など、尼崎市の小学校の教科書で取り上げられた作品も展示しています。

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※  印は休館日です。

※  囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。